



長門の話題 Topics

ともに考えよう！長門の医療

地域医療崩壊を防ぐには

2月12日(日)、ルネッサなごとで地域医療フォーラム「ともに考えよう！長門の医療」が開催され、市民ほか250人が参加しました。

フォーラムでは、夕張市の夕張医療センター長の村上智彦氏による講演が行われました。村上氏は、夕張市が財政破綻した原因やそこに住む人

のメンタリティに触れ、「コンビニ受診をしていては、医師が疲れ果て、地域医療は崩壊する。健康は自分で守ることを考えることが大切。社会保障は相互扶助の考えでやっているの、自分さえよければ、と考えていてはつぶれていく」と時には笑いも交えながら説明しました。



▲「お医者さんには感謝のことばを」と村上氏

▼後半には長門の救急医療について現場から報告がありました



ひとりぐらしのためのクッキングスクール 栄養バランスを考えて

2月15日(水)、長門市保健センターで「ひとりぐらしのためのクッキングスクール」が開催されました。これは、卒業後一人暮らしを始める高校3年生を対象に、簡単にできる料理を作り一人暮らしを楽しむんでもらおうと企画されたもので、15人が参加しました。

調理実習では、チキンのトマト煮、けんちんよう、ゆずクリームパスタ、ホットケーキいちごソース和えなど7つの料理を調理しました。5人の食生活改善推進員のお手伝いもあり、スムーズに料理ができあがりました。

参加者は地元の食材を活かした料理をおいしそうにほおばっていました。



益田市・浜田市・萩市・長門市4市長会議

広域で連携し課題解決を

2月9日(木)、ルネッサなごとで益田市・浜田市・萩市・長門市4市長会議が開催されました。4市の広域連携を進めるため毎年開催され、今回で12回目、長門市は10回目から参加しています。

まず、美術館連携、地域公共交通施策、定住促進施策に

ついてこれまでの取組状況が報告されました。続いて、「防災」「交通体系」「定住促進施策の連携」「地域医療の現状と連携」の4つの議題についてそれぞれの市長が発言を行いました。

最後に、次回は益田市での開催を確認し終了しました。



▲鯨の竜田揚げをほおぼる園児たち

▼仙崎小学校でも鯨の竜田揚げが提供されました



深川中学校PTA講演会 自然保護の大切さを知る

1月28日(土)、深川中学校でPTA講演会が開催されました。宮城県気仙沼市で力キ養殖や植樹活動を行っている漁師でエッセイストの畠山茂篤さんを講師に迎え、全校生徒と保護者・一般市民計450人が参加しました。

畠山さんは、まず東日本大

震災での経験を話しました。その上で「森は海の恋人」運動にふれ、「三陸沖は、腐葉土が流れてきていて、その土の鉄分によって豊かな漁場となっています。海を守るためには、森林を大切にしていく必要があります」と自然保護の大切さを話しました。



2月3日(金)、市内の小中学校17校の給食メニューに鯨の竜田揚げが登場しました。古式捕鯨の歴史・食文化に関心を持つため、また節分には大きなものを食べて健康を願う風習があることから実施されたものです。

仙崎小学校5年生の教室では給食前に、昔行われていた捕鯨の歴史や瀬戸崎組鯨唄について調べたことの発表会が開かれました。給食が始まると、児童たちは鯨肉の歯ごたえある食感を楽しみました。

2月6日(月)には、「長門大津くじら食文化を継承する会」が、市内の6カ所の保育園・幼稚園に鯨の竜田揚げを提供しました。

くじらの肉を市内小中学校・保育園・幼稚園で 捕鯨の歴史や文化を伝える